

バスの車内事故防止について（お願い）

バスの車内における事故は、公益社団法人「日本バス協会」の調べによると、事故全体の約3割を占めています。特に、65歳以上の女性の負傷が目立っており、骨折等の重傷事故につながりやすい傾向にあります。

急ブレーキやお客様が着座する前に発車するなどの、運転士側の不注意による事故が発生しており、当社では運転士への指導・教育を反復し、事故の発生防止に努めています。

一方、バスが停留所に着いて完全に停止する前に、お客様が席をお立ちになることや、バスの走行中にお客様が座席を移動されることによる事故も発生しています。

以上が事故の特徴ですが、車内における事故を防止するため、お客様からも次の点についてご協力をお願いします。

バスを乗・降される際は、ゆとりをもってお願いします。
具体的には、

1. お降りの際は、**バスが完全に停車して、扉が開いてから席をお立ち願います。**
2. バスの**走行中は、座席の移動をしない**ようにお願いします。

危険回避のため、急ブレーキをかけることがあります。ご着席乗車による安全運行に、お客様のご協力をお願いします。